

	課題：児童の実態・学習状況、指導の実態	改善プラン：課題改善の方針・具体的手だて
国語	○自分の経験や考えをすすんで話そうとする児童が多い。順序を考えながら話をすることや話を聞くことが必要である。 ○経験した事実については詳しく書ける。感じたことや想像したことについて書くときの語彙を身に付ける必要がある。 ○文章を読んで、文章の内容と自分の経験とを結び付けて読み感想をもつことができる力を身に付ける必要がある。 ○長音、拗音、促音、撥音の正しい表記や助詞（は・を・へ）の使い方について理解する必要がある。	☆話し方を具体的に指導することで、必要な事柄を選び、伝えることができるようにする。 ☆互いの話に関心をもつことができるように、話題を工夫し、興味をもったところや感心したところを伝え合う活動を取り入れる。学習者用端末を活用した交流活動を取り入れて、伝え合う活動の幅を広げていく。 ☆アウトラインを示し、短文作りを繰り返す行う。書きたいことをたくさん、長く書く指導を行う。 ☆読んだ本についての感想を書いたり、好きな場面について友達と意見交流したりするなど、多様な読書活動を意図的・計画的に取り入れ、様々な知識や情報を得たり自分の考えを広げたりできるようにする。 ☆児童の発達や学習の状況に応じて、児童が文章との関連を考えながら、実際の経験を十分想起できるようにし、児童一人一人が感想をもてるようにする。 ☆朝学習の時間を活用して復習問題に継続して取り組むとともに、日記等の活動を通して定着を図る。
算数	○繰り上がりや繰り下がりのある簡単な計算や、筆順の操作手順を十分に身に付ける必要がある。 ○10や100のまとまりに着目し、数の仕組みや相対的な大きさについてとらえることが必要である。 ○長さについての理解が必要である。特に、cmとmmの目盛を正しく読み取ることや単位の換算、長さの加減計算を身に付ける必要がある。 ○自分なりに考えて問題を解いたり、どのように考えたか説明したりする力が必要である。	☆具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにするとともに加法や減法の意味を改めて考え、操作手順と併せて理解できるようにする。<u>計算プリントや学習者用端末を用いた学習等、基礎的な練習問題に継続して取り組み、確実に定着できるようにする。</u> ☆具体物を操作する活動等を多く取り入れ、理解を深めていく。 ☆日常生活の中で使われている単位に着目させたり、具体物を使ったりする数学的活動を通して理解を確実にし、量感を養う。また、mm、cm、m、ml、dl、lなどの単位の相互関係をきちんと理解できるようにする。 ☆問題解決型の授業を通して、自分なりに考え、友達の考えを聞くことの楽しさを実感させる。<u>具体物を操作しながら、自分の考えを簡単な表現で発表し合う活動</u>を取り入れていく。
生活	○生き物や植物への関心が高い。生き物の世話などの経験をすることが必要である。 ○活動には意欲的に取り組むが、気付きの質を高める必要がある。 ○地域の人や場所との交流活動を楽しみにしているが、伝えたいことを身近な人に伝え合う活動の経験が必要である。 ○地域への関心がある児童が多い。しかし、行動範囲に個人差がある。季節感、地理感覚を身に付ける必要がある。	☆生き物に関心をもてるように教室環境を整える。飼育・観察を通して、生き物の住みかや成長の様子に関心をもたせる。 ☆気付いたことをカードに書いたり、話し合ってから交流したりする機会を意図的に設定する。また、国語の学習と関連させて、観察カードの書き方を指導し、観点到に着目して観察できるようにする。 ☆交流活動を通して、相手に応じた伝え方があることに気付くことができるようにする。 ☆ICTを活用した学習形態の工夫や友達との情報交換を行い、地域と自分との関わりに関心を持ち、地域のよさに気付かせることで地域への愛着を深める。
音楽	○音楽に合わせて体を動かしたり、リズムをとったりすることが苦手な児童がいる。 ○鍵盤ハーモニカの演奏には意欲的に取り組むが、技能に個人差がある。タンギングと指使いの習得が必要である。 ○身近な楽器に親しみ、思いに合った演奏している。また、そのための技能に個人差がある。	☆授業でリズム打ちを多く取り入れ、様々なリズムに親しませる。タブレットの音楽ソフトを活用し、音楽への興味関心を引き出しながら、音やリズムの楽しさに気付けるようにする。 ☆鍵盤ハーモニカを練習するときは、階名と指番号を一致させて、スムーズに弾けるよう個別指導をする。 ☆楽器の音色の違いを楽しむことができるように、様々な楽器を体験する機会を多く設ける。拍の流れにのってリズムよく演奏することに慣れ親しむことができるように、手でリズムを打ったりする活動を取り入れる。
図工	○身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れ、造形活動を楽しみながら活動している。 ○素材の感触を楽しんだり、用具の使い方を確認したりしながら児童が様々な表現方法を選択できるように取り組んでいる。	☆教科書の題材を中心に、題材や指導法等を工夫し、引き続き児童の意欲を高めていく。 ☆初めての用具や素材に触れる際には安全面を重視し細やかな指導を行う。配慮を要する児童については事前に情報を共有し、特に安全に配慮する。
体育	○体を動かすことが大好きな児童が多く、意欲的に取り組むことができる。体の調和の取れた動きやバランスを保つことができるようにする必要である。 ○ゲームを楽しむことができる。規則を工夫したり、攻め方を選んだりすることが課題である。 ○器械・器具を使っでの運動遊びのなわとびにおいては個人差が大きい。	☆体のバランスを取る運動遊びや体を移動する運動遊びを中心に、個別の課題に応じて指導する。 ☆児童がゲームに取り組む中で、自らより楽しいゲームにしていくためのきまりを工夫していけるように、活動を振り返る時間やきまりについて話し合う場面を確保する。 ☆やり方やコツがわかるように模範演技をしたり、なわとびカードに楽しみながら書き込める工夫をしたりすることで児童が意欲的に取り組めるようにする。
道徳	○教材を読み物として理解し、意見を述べるができるが、自分自身を振り返ることができる力が必要である。 ○相手の立場に立って物事を考えることができるように、授業展開を工夫している。	☆導入や発問構成、展開の仕方等を工夫することで、教材をきっかけにして、自己の生き方について考える授業を実践する。見方や考え方を広げたり深めたりするために、友達との対話の時間を十分に確保し充実させる。 ☆児童の実態に合わせた指導方法を工夫する（役割演技・動作化・表現活動等）や話し合い活動を取り入れることで、様々な立場に立って考えたり、友達の多様な考え方に触れたりする機会を意図的に設定する。